



今年の夏も様々な場所で名取北高生が活躍！

今年は例年になく暑い日が続きました。熱中症アラートが何度も宮城県に出されましたが、この暑さにも負けず、名取北高生は様々な場所で活躍してくれました。今回は、この夏に頑張った生徒にスポットを当て、その活躍を皆さんに紹介します。



外部講師を招いて第3学年集中学習会開催

7月15日～17日の3日間、大学・短大進学を希望する生徒を対象に集中学習会を実施しました。自学自習中心で約8時間、進路実現のために参加した生徒はひたすら勉強に励みました。主要3教科である英数国においては、株式会社トライグループから講師をお招きし、1コマ90分の受験対策講座を開講。解法の裏技や自分の弱点などを知り、大学受験に対する意識が高まったようです。



【参加した生徒のアンケートより抜粋】

- ・やる気のある人たちの集まりだったから、自分自身もやる気が上がって集中しやすかった
- ・今回の学習会で、勉強を頑張っている人たちと静かで良い環境で集中して学習に取り組めて良い機会になった
- ・学校の授業では習っていないけれど、知っておくと便利だという公式を学ぶことができた
- ・模試の振り返りで大切な点や、これから自分がどうしていくべきか、ためになることを聞くことができた



オープンスクールに中学生669名参加

～在校生の声を中学生に直接届ける～

7月31日は中学3年生を対象とした名取北高のオープンスクールを開催しました。暑さ対策の面から各教室における動画配信を基本とし、高校での学習と入試制度、卒業後の進路、学校行事などを紹介しました。また、高校生活がどのようなものなのか、在校生のリアルな声を聞く場面も設定しました。



◎参加した中学生のアンケートより抜粋◎

- ・在校生への質問で聞きたいことを的確に教えてくれた
- ・行事の動画が楽しそうだった
- ・高2から自分にあった学科を選べるのがよい
- ・部活動紹介のビデオがよかった、楽しそう
- ・大学進学に向けて学習できると思った
- ・部活に力を入れている学校だということがわかりました
- ・在校生からの話が身近に感じられた

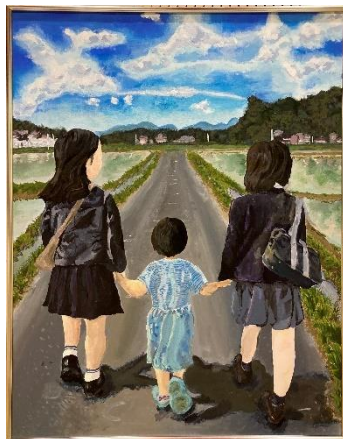


奨励賞



『私を見て！！』
八巻美々(3年)

奨励賞



『新芽の前進』
大泉花鈴(1年)

仙南高校美術展で2作品入賞

7月15日～17日、白石市中央公民館において「第64回仙南高等学校美術展」が開催されました。出展総数は121点で、本校美術部からは4作品を出展し、そのうちの2作品が奨励賞をいただきました。部員は春先からこの美術展に向けて題材を決めて、夕方遅くまで制作に取り組みました。3年生は高校生活最後の集大成として計画的に取り組み、1年生は先輩の描く勢いに圧倒されながらも、自分の世界観を作り上げることができました。



Let's 理科読ボランティアに参加 ～小学生に向けて理科実験の面白さを伝える～

7月30日に増田公民館において、名取市教育委員会主催のLet's 理科読が開催されました。今年のテーマは「空気のちから」。空気にまつわる絵本の読み聞かせ、風コマ等の個別実験、空気砲や新聞紙ドーム等の集団実験が行われ、名取北高生21名がボランティアとして参加しました。

小さい子と触れあう機会があまり多くないため、どうしたら小さい子がわかりやすく説明できるかなどを考えながら行動しました。コミュニケーションをとるために大切な、相手のことを考えながら行動や発言をするということを、この活動を通して学ぶことができました。分からないことやできないことがある小さい子に、しっかりと目線を合わせて話を聞いて説明をし、相手のことを考えコミュニケーションをとることができたので良かったです。できなかったことができるようになった子どもたちの喜ぶ姿や、笑顔になる姿をみて、このような素晴らしいボランティア活動に参加することができ、とても良い機会となりました。人と関わることの大切さや、楽しさを改めて学ぶ機会となりました。

(岩崎 結菜 3年・増田中出身)



保育基礎の授業で名取市増田保育所を訪問 ～0歳から4歳までの乳幼児保育を体験～

8月17日に2年生の「保育基礎」選択者のうち7名が名取市増田保育所を訪問し、保育体験をしました。参加した生徒たちは、子どもとの遊びや関わりを通して、乳幼児の発達と子どもに対する理解を深めることができました。また、保育所の役割や機能、保育士さんの乳幼児に対する接し方や気の配り方、職業倫理などについて具体的に学びました。子どもを理解するためには、子どもの観察を通して子ども一人一人の行動を把握することが大切であることを知り、具体的な子どもの姿とそれに応じた保育士の個々の援助や関わりについて理解を深めることができました。

子どもたちの笑顔を見ることができたり、日に日にできるようになる事が増えていき、成長を身近で感じる事ができたりする保育士や幼稚園教諭は素敵な仕事だと改めて思いました。毎日大変だと思いますがやりがいもあるし、自分で積んできた今までの経験が子育てなどに役に立つし、今回の保育体験を通して改めて保育士や幼稚園教諭になりたいと思えました。

(齋藤 偉和 2年・亘理中出身)



生物の授業でフィールドワーク ～海岸林再生の現場で生態系を学ぶ～

3年生の「深める生物」選択者28名が、7月23日は尚絅学院大学の鳥羽妙準教授の協力を得て、8月21日には公益財団法人オイスカの協力のもとでフィールドワークを行いました。7月23日は尚絅学院大学の里山を観察し、鳥羽先生から里山の生物について講義していただきました。8月21日は午前と午後の2班に分かれて、重要文化財である洞口家や屋敷林（いぐね）の観察だけではなく、東日本大震災の津波で流された海岸防災林の再生現場を訪れ、クロマツの植林の状況やそこに棲む多様な生物がつくる生態系の一端を学びました。



9月の行事予定

- 1日(金) 北高祭前日祭(校内発表)
- 2日(土) 北高祭当日祭(一般公開)
- 4日(月) 9月2日の代休
- 5日(火) 先輩講話(1年)
- 8日(金) 共通テスト模試(3年～9日)
- 12日(火) 1、2年進路希望調査
- 14日(木) 前期期末考査 ～20日
- 21日(木) 平日課外Ⅱ期開始(3年)

